

平成22年12月25日

まち協だより

菩提寺まちづくりセンター内 事務局 Tel 0748-60-1381 発行責任者 事務局長 田畑 一佳

帶慕 7座 总别

(受付順 掲載)



大山川の環境を守る

イワタニランドの北を流れる清流「大山川」。 そこは自治会の会員の憩いの場となっています。 その源流は鏡山と十二坊山系にあり、その流れ は希望ヶ丘、近江台、イワタニランドを経由し 野洲川に至ります。大山川という名は、大きな 山の奥より流れ出でる川に由来するようです。

イワタニランドを流れる大山川は、春は桜花 の乱舞、夏は幻想的な蛍がり、秋は紅葉と落ち 葉の絨毯、冬は水鳥の飛来地となっています。 そして、河岸のふれあい広場では夏祭り、近隣



公園では冬にド ント焼きが開催 されます。更に テニスコート、 ゲートボール場 も設置され、一

イワタニランド自治会会長 小川 均

年を通して自治会会員の心休まる場所となって います。更に、貴重魚類のオヤニラミも棲み、 貴重な環境資源になっているのです。この素晴 らしい環境を守る事がイワタニランド自治会の 大きな役割となっています。その為、イワタニ ランド自治会では環境衛生部を中心とする自治 会役員と有志数人がメンバーとなり、大山川へ



の不法投棄監視 パトロールと清 掃活動を定期的 に実施していま す。先輩諸氏か ら引き継いだ大

山川の環境を、次世代に伝承できるよう日々活 動を行なっています。



防災への取り組み 北山台ふるさと防災チーム事務局長 廣瀬 保

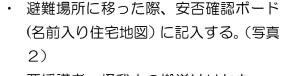
防災とは、災害を未然に防ぐための各種行 為、施策、取り組みをいいますが、わかって いてもなかなか出来ないのが防災対策です。 そこでいつでも動ける人が集まり(自主的な 参加)、向う三軒両隣の小さなコミュニティ集 団を核に効果的な対応が取れるよう、この1

年間活動をしてきました。

- 1、 恒例行事として春・秋の美化作業の 後、全ての消火栓(46箇所)で、消火 訓練=ホースの接続訓練を行っています。 これにより近所の顔合わせが出来ます。
- ふるさと防災情報紙"向う三軒両隣" 2、

を3ヶ月ごとに発刊しています。

- 6月20日には全戸避難訓練を行な 3、 いました。{参加軒数:364(総軒数: 647)}
 - この訓練の活動で特記すべきところは、 以下の点です。
 - ・ 避難する時は必ず郵便受けに白布をか け、情報班の確認作業を効率化した。 (写真1)



- ・ 要援護者、怪我人の搬送はリヤカー、 車椅子、簡易担架で行いました。(写真 3)
- 本部と各班との連絡はトランシーバー を活用しました。
- 釜戸ベンチを設置しました。(写真4) 4、











(写真 1)

(写真 2)

(写真 3)

(写真 4)



もうすぐ どんと焼き

近江台区長 松本 高治

自治会にとっては、最大のイベントであった夏祭りも無事に終えて、残り行事は、年末の防犯パ

トロールと新年のどんと焼きの二つとなりました。



10月の人権まちづくり懇談会では、少子化と高齢化を テーマに、話し合いをしました。

例年通り、行事をこなしてきましたが、近江台では、来年 益々少子化と高齢化の問題が、顕著になってくるでしょう。

来年も、近江台で活動されている防災チーム、和楽会、 子供会、PTA、えんがわ等と協力して、自治会の活動を盛 り上げて行きたいと思います。



サイドタウン ふれあい事業 自治会会長 圓山 三郎

この11月元気な中高年(40才以上)の



方を対象に日 帰りの『芦原 温泉蟹ツア ー』を実施。 本場の温泉に

入り、カニ料理を食べ、海産物市場で買い というプランに夫婦連れも含め30名の方が 参加され、大いに楽しんで頂きました。初め ての企画でしたが、好評だったので今後も続

けられるよう願っております。

また、サイドタウンには、創立20年にな るボランティアグループ「オアシス会」があ ります。希望ヶ丘公園南ゲート駐車場の管理 業務を請け負い、その委託費から拠出した活 動資金で、自治会館前に畑(名付けて、オア シスファーム)を借りたり、サツマイモ苗や 花の苗等を購入しています。そして、南ゲー ト前やサイドタウン内のゴミステーション・ 公園等に花を植えて、町内の環境美化活動を しております。

毎年10月には、未就学児童と高齢者の交 流事業として、恒例の「いもほり会」をオア シスファームで行なっています。スタッフも



含め10 0余名が 参加し、 とりたて を焼きい も・天ぷら・大学いもなどにして、秋の味覚 を満喫しました。

阪神淡路大震災では、被災地の仮設住宅へ3年にわたり毎月プランターの花を届けたところ、被災者の方がわざわざサイドタウンまでお礼に来られ、スタッフー同感激させられたとのことでした。また毎月1回、各自がいそいそとお手製の肴を持ち寄っての例会は大きな楽しみとなっているようです。



みどりの村 人権まちづくり懇談会 自治会広報

みどりの村区では、去る 11 月 21 日に人権まちづくり懇談会が開催され、区民及び湖南市から健康福祉部の菅沼部長を初め 7 名のご出席のもと盛会に開催されました。

最初に山口区長の挨拶があり、少子高齢化が 進んでいること、一方昨今の社会的な背景として家族や親戚付き合いの希薄化が進む中で、自 分たちの町は自分たちで「支え合い助け合いー 緒に暮らそうこの町で」の区長方針のまちづく りを今後も推進していくとの話があり、続いて 菅沼部長様の挨拶を頂きました。その後、本日 のテーマ「災害時、地域での防災体制を通じて 人権の大切さを考える」について、第一部では 「大地震の恐怖、残された教訓」のビデオ鑑賞 をした後、みどりの村区防災チームを代表して 白阪さんからグループ懇談会形式で

1、自然災害の種類(特にみどりの村区で予測

される災害について、どのようなものがあり ますか?)

2、防災時の心得(特に、地震にどのような備えをしていますか?)を皆で考えました。 また、みどりの村区防災にたいする課題の説明や今年防災チームを設立した経過報告がありました。

その後、第二部では同じくチームを代表して 松田さんからこれまでの活動について

- 1、設立の趣意書、区ネットワーク
- 2、区防災チーム組織図
- 3、今後の活動 について報告がありました。 以上、懇談会を通じて「地域のひとり一人の つながりの大切さ、命の大切さ、地震に備える 事の大切さ」を考える有意義な一日になりまし た。最後に湖南市の山中課長からご挨拶をいた だき、閉会となりました。



『にらいの川』に枝垂れハナモモ 三上台広報 池井 俊治

三上台区は、平成7年から13年に行われた区画整理により住宅地の造成や幹線道路整備が行われ、人口が急増しました。若い世帯が増え『若者の多い元気な町』と評価される一方で、近隣同士または高齢者と若者のコミュニケーション不足など、地域のかかわりが薄くなっているのも事実です。平成22年度は自治会基本

方針に「ハートをつなごう」を掲げ、ご近所同士の交流と連帯といった自治会活動の原点に立ち返り、会員相互のコミュニケーションを深めるための年中行事の見直しや班会議の実施、安全・安心なまちづくりのための防犯・防災活動などに取り組んでいます。



昭和55年に発足した三上台自治会は本年度 で30周年を迎え、記念行事として30周年記念

誌の制作や『にらいの川』記念植樹などを計画 しています。『にらいの川』は三上台北端にあ る小川で、今は雑草で覆われていますが、自治 会の皆さんで整地し『枝垂れハナモモ』を植え て、春に赤白に咲く花が楽しめる川堤を作りま す。近くにおいでの折には、ぜひ『にらいの川』 を訪れてみてください。



菩提寺まち協 共同から協働へ

菩提寺区長 龍池 誉男

偶然の必然とでもいいましょうか、縁あって この菩提寺の地に営みを持つものの身にあって は、今のような機械文明の恩恵を受けるに至っ ていない時代といってもついこの前まで、おて ったい(お手伝い)合いが、日常生活の中に浸 み込んでいたものである。例えば、家普請など に至っては、建前といわれる日には村中の者が 施主の家に押しかけて行き、柱の組み立てから 屋根瓦の仮置きまで、はたまた荒壁塗りと、丸 一日で家の形が出来上がったものです。施主は、 お手伝いの方々へ酒肴を振る舞い感謝の意を表 したもので、その他には特段の謝礼をすること もなく、お互い様の一言でごく自然な振る舞い の中で、互いの暮らしを支え合っていたもので ある。このような共同作業は、地域社会におい て枚挙にいとまがないほどあったものである。

今、世界遺産に登録されている白川郷のあの 茅葺きの屋根の葺き替えを、地域の人々の共同 作業で行われている光景がテレビで放映される のを目にされた方もおられることでしょう。まさにこれと同じ事が、村社会の中に培われ、互いの絆を深め合い、心の豊かさを醸し出していたといえるのではないかと思量するところである。これも、農業を中心とした生活基盤の集団であったからこそ、同じ価値観が共有でき、慣習として定着していたのでしょう。

時の移ろいとともに、今この地で暮らす人も 生活の基盤とする職業も様々であり、個々人の 価値観も多様化してしまった中では、ややもす ると自己中心的な振る舞いが横行する嫌いもあ る中、人々が安心して自己実現を図れる地域社 会であってほしいものである。

以前のように、共同作業を半ば義務とした中で地域社会の秩序を保ってきた形を、それぞれの活動ごとにかかわる者の協働という形で、この菩提寺を発展させていきたいものである。その牽引役として、まちづくり協議会が果たす役割があるのではないかと思うところである。



7区親善 ソフトボール大会







菩提寺まちづくりセンター祭り